

# ウィークリー・ブレッド・オブ・ライフ

(2024年11月10日(月)～17日(日))

岸和田聖書教会

牧師 栗原純人

「ブレッド・オブ・ライフ」とは「いのちのパン」(ヨハネ 6:48)。「わたしはいのちのパンです」と言われるイエス・キリストさまをみことばによって食しましょう。今日一日の力です。以下の手順を参考に聖書を読みましょう。

1. 静まります。「しかし私は 義のうちに御顔を仰ぎ見 目覚めるとき 御姿に満ち足りるでしょう。」(詩篇 17:15)
2. 声に出してその日の聖書日課を読みます。
3. 気づいたこと、わからないことなどをノートに箇条書きし、その後『みことばの光』、このブレッド・オブ・ライフの文章を読みます。わかったことがあったら、さらに書いてみましょう。
4. もう一度、聖書日課を読みます。違う響きがあるでしょうか？
5. 祈りましょう。実際に声に出して。そして祈りの中心部分を書いてみましょう。一日の終わりに、今朝の聖書を思い起こし、みことばがどのように生きたか、思い巡らしましょう。

11月11日(月)

今日の聖書日課：イザヤ 41:1～29

恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから。わたしはあなたを強くし、あなたを助け、わたしの義の右の手で、あなたを守る。

イザヤ 41:10

バビロン捕囚の向こう側にいる民に語られている主のことば。それが40章以降。散らされていた者たちは、自分たちは主に退けられたと考えていました。しかし主は言われます。「あなたは、わたしのしもべ。わたしはあなたを選んで、退けなかった」(9)。それどころか冒頭の聖句。「わたしはあなたとともにいる」と言うのです。罪のゆえに退けられて当然の民。しかしそんな彼らに主は、決意をもって「わたしはあなたとともにいる」と言われるのです。「義の右の手」は彼らを罰するはずが、その手で彼らを守ると。

ここにもメシアによる罪の赦し、救いが暗示されているのです。

11月12日(火)

今日の聖書日課：イザヤ 42:1～25

見よ。わたしが支えるわたしのしもべ、わたしの心が喜ぶ、わたしの選んだ者。わたしは彼の上にわたしの霊を授け、彼は国々にさばきを行う。

イザヤ 42:1

はっきりと表わされました。「わたしのしもべ」。神がイスラエルに与えられたメシア。主が選ばれた王は、イスラエルだけではない、「国々」：世界の国々、人々を正しくさばかれます。そのさばきは人々を恐怖に陥れるものではなく、人々が「そのおしえを待ち望む」(4)。そのようなもの。この神のしもべこそ、メシア、キリスト・イエスさま。この箇所以降、このメシアが紹介されているところに注目しましょう。

11月13日(水)

今日の聖書日課：イザヤ 43:1～13

わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。だから、わたしは人をあなたの代わりにし、国民をあなたのいのちの代わりにする。

## イザヤ 43 : 4

よく知られている聖句。だれもが好きなみことば。なぜ主は民を愛されるのか？それは主がイスラエルを創造されたから。その民をご自身の栄光のために造られたから（1、7）。しかし、ここで主が語っている相手であるイスラエルは「主の道に歩もうともせず、そのおしえに聞き従わなかった」者たち（42:24）。どこが高価で尊いのか？どこに愛される要素があるのか？ないではないか。そんな民。だから、このみことばもまた、主の決意の表れなのです。咎の償い（40:2）ための身代わりが述べられているのは、このことばがあたりまえでないことを示しているのです。だから、このみことばは、単なる美しいことばではなく、背を向けている人間への招きなのです。

11月14日（木）

今日の聖書日課：イザヤ 43 : 14~28

わたし、このわたしは、わたし自身のために あなたの背きの罪をぬぐい去り、もうあなたの罪を思い出さない。

イザヤ 43 : 25

神が人間の罪を赦すのはだれのためでしょうか？そんなのきまってる。人間のため。たしかにそうです。しかし冒頭の聖句で主は「わたし自身のため」と言われます。どういうことでしょうか？「わたしの名で呼ばれるすべての者は、わたしの栄光のために、わたしがこれを創造した。これを形造り、また、これを造った。」（43:7）。主が造られたと何度も語られていますが、それは「わたしの栄光のため」、主の御名がほめたたえられるためでした。主が選ばれた民の罪はその御名を汚すもの。主が罪をぬぐわれ、もう思い出さないというのは、主の民が汚した主の御名のためなのです。あなたが、わたしが救われたのも、主の御名が汚されないため、いや、これからもほめたたえられるためなのです。

11月15日（金）

今日の聖書日課：イザヤ 44 : 1~28

ヤコブよ、これらのことを心に留めよ。イスラエルよ、あなたはわたしのしもべ。わたしがあなたを形造った。あなたは、わたし自身のしもべだ。イスラエルよ、あなたはわたしに忘れられることがない。

イザヤ 44 : 21

イザヤ書に出て来る「主のしもべ」。それはメシアである、と何度も聞きました。しかしここで言われている「しもべ」はイスラエル。主の民。主の栄光のために造られていながら、このお方を信頼せず、偶像に心を向け、そこから離れられなかったゆえにバビロン捕囚となった人々。この民を主は、メシアと同じご自身の「しもべ」と呼ばれるのです。ありえないことです。しかしここにこそ、主のみこころ、計画が表されているのです。メシアなる主のしもべによって罪から贖い出される民（主のしもべ）。神の恵みをこの世に示す主のしもべ。私たちもまた同じです。

11月16日（土）

今日の聖書日課：イザヤ 45 : 1~8

わたしは秘められている財宝と、ひそかなところに隠された宝をあなたに与える。それは、わたしが主であり、あなたの名を呼ぶ者、イスラエルの神であることをあなたが知るためだ。

イザヤ 45 : 3

バビロンを滅ぼすキュロスもまた、主の招きを受けていました。

11月17日（日） 今日の礼拝説教箇所：イザヤ 45 : 22「神さまはどこにいる？」

礼拝の中で子ども祝福式をします。神さまはどこにおられるのでしょうか？